

地平線

全日本港湾労働組合
関西地方建設支部機関誌

2021年3月25日 366号

全日本港湾労働組合関西地方建設支部

〒552-002

大阪府大阪市港区築港 1-12-27

電話 06-6572-2105 / FAX 06-6574-5648

kensetsu @ crux. ocn. ne. jp

情勢をよく見て

春闘をしっかりと闘おう

新型コロナウイルスが昨年1月から1年以上にわたって続いています。マスクを着けた生活が当たり前になり、着けていないと指摘されたりする日常に変わってきました。仕事の仕方や集会、会議の風景も変わってきました。そのような中で、21春闘を闘っています。宝塚分会と堺化学分会は既に団体交渉を終え昨年並みの回答でしたが妥結しました。太平ビルサービス分会は第1回目の団体交渉を終えましたが、回答が検討中で第2回団体交渉（4/19）を決めました。

樋口商店分会は四條畷で4/14に団体交渉の予定です。

古川分会は長期の自主管理闘争の中、代表の樋口さんが2月27日に亡くなりました。今後はTさんが代表を引き継ぎ分会一丸となって事業を継続し闘っています。コロナ禍、厳しい経済情勢の中ですが各分会とも創意工夫をし、新しいエネルギーを生み出しながら活動し闘っ

ています。

今後の課題としては、宝塚分会は会社がある下水道処理のクリーンセンターが民営化DBO方式（design build operate 公設民営）で建て替えられます。約5年後に新しい施設になり、民営なので会社事務所と駐車場は外に移転せよとのことで、支部・分会としてはこの間の経過を無視した話であり市行政当局と交渉をしていきます。堺化学も入札をめぐる職場・雇用確保のため堺市行政当局と交渉していきます。

太平ビルサービス分会は、会社の経営・財政状態の説明が不十分であるので、もっと詳しい明確な説明を求めています。賃上げを実現するため闘います。職場要求では「パートタイム・有期雇用労働法」を踏まえ、会社が法の主旨・目的を理解しておらず格差是正をしない回答を改めさせていきます。「高年齢者雇用安定法」に基づき65歳以上の内勤者の雇用も計画（4ページへ続く）



樋口和男さん
(2019年)

樋口さんお疲れ様でした

闘い抜いた古川分会自主管理闘争

T.K

樋口さんを思い出す風景は、いつもニコニコ優しく笑っている姿です。いつか古川分会の事務所に訪ねて行って話しこんだ時に、生まれは三重の伊賀上野で若い時に剣道をしていたと聞いたことがある。

姿勢が正眼の構えというか良いし、真正面から物事に対峙する姿を感じさせられました。人の話をする時も、内容は批判的な適格な指摘をしても、ニコニコ優しい気持ちで茫洋とした姿で論評するので聞いていても清々しい気持ちにさせられました。「真ちゃんはな〜」「竹村はな〜」「宮口はな〜」とか二十歳ぐらいの若い時から、頭がはげてきた最近までその姿勢は変わりませんでした。

芦田の真ちゃんが亡くなった時に、古川分会が近所の付き合いのある事業所の人たちも招いて30人ほどで偲ぶ会をやった時、樋口さんが私を事業所の人たちに紹介する時に「思想をやってる人です」と紹介してくれた。そういう樋口さんが印象に残っています。

古川分会の初期の記録を見ると、1977年8/3、古川分会、企業閉鎖反対闘争の中、毛馬工場に移転。(泊まり込み職場占拠) 1978年1/1、古川分会闘争。毛馬工場占拠越年。 3/30古川闘争・カネボウ糾弾闘争。(カネボウ前) 1979年11/30、愛知、古川闘争勝利支部決起集会。 1981年8/25、古川分会・争議解決調印。とあります。その後、企業を自分たちでやる自主管理闘争へ。

以来40余年、闘い抜いた樋口さんの人生だったと思います。

樋口和男君を称えて

H.K

- ・ 気負いなき 対面姿勢 ほどさ
- ・ 隙だらけ 剣士の姿 ほど遠く
- ・ 懐深い 有段の志士
- ・ 風貌には 竜馬をみたり 初対面
- ・ 酒豪のはずが 自身に酔いて
- ・ 仲間との 企業起こして 牽引
- ・ を 苦行 苦難を 背負いて 笑顔
- ・ 連れ合いと 癒し求めて 心身保ち
- ・ イブに 三角関数 ひねくりて
- ・ 製作図 駆使し 信用つなぐ
- ・ パソコン 自らの道 切り開き
- ・ 自然体 自ら 切りに
- ・ 悠々生きて 仲間と 共に
- ・ 突然の 別れを 言えず 君は逝
- ・ き 遺影は 語る 心穏やか
- ・ 稀有なこと 人の 出会いは 宿
- ・ 命と それから 開く 自己の 運
- ・ 命 善悪の 全てが 自己の 思うま
- ・ ように 生きとし 生きて 悔いなき

感謝

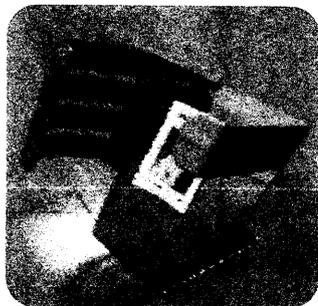


樋口さん(左)と Yさん

(株) 樋口商店に解雇され解雇撤回闘争を闘っているとき、古川分会の樋口さんから、「君とこの社名と同じ名字で、何か虐めてるみたいで嫌だけれど頑張れ！」とエールを頂き解雇撤回・復帰闘争を闘えました。ありがとうございました。

樋口商店分会

T.H



ティッシュペーパー立て

私は1977年に建設支部に加入しましたが、先輩分会であった古川分会のあの闘いの過程で樋口さんを知りました。それから40数年経ちました。樋口さんとは色々な取り組みで行動を共にしたと記憶します。

写真は1993年の冬、樋口さんと息子さん、そして今は亡きフジタ工業分会の吉田栄治さん達と四人で登った武奈ヶ岳(比良山系)の頂上での元気な樋口さんの姿です。懐かしい思い出となりました。

他界された樋口さん、いずれ再会するでしょうが今はなんとも残念です。ご冥福を。

Y.T

1980年、治水工業の高槻工場で働き始めた時、事務所の壁には、「労働者は職場の主人公だ。職場に自主権を！」という建設支部のスローガンが掲げられていました。鋼製型枠の整備という、これまでにやったことのない仕事の前で途方に暮れているとき、大型ハンマーの振り方や溶接の仕方について、教えてくれたのが古川闘争を闘いながら治水工業でアルバイトをしていた樋口さんでした。

高槻工場の事務所や愛知工務店で、一緒に泊まり込みをしながら、自己規律を持って働くことの大切さや建設支部の自主管理について、教えてくれたのも樋口さんでした。樋口さんとの濃密な時間は、樋口さんが古川分会の仲間のところに戻って行ったために、二カ月ほどで終わりました。しかし、私が、何度もくじけそうになりながらも、治水工業で働き続けることができたのは、樋口さんとの出会いが大きかったのだと思います。

職場の主人公として、自主権を守り抜いてきた樋口さんと古川分会の皆さんに、心より敬意を表します。

O.J

Sさんから電話で樋口さんがく亡くなったことの連絡を受けました。最近いろいろな人が亡くなるのが重なるのですが、それにしても自分より年下の「若い」人が先立たれると言うのは力が抜けてしまうと言うかやるせない思いがひととき強いものがあります。

支部の50周年の記念品として金物のティッシュペーパー箱立てをつくってもらいました。いろいろな思い出とともに大切にしていきたいと思います。

N.K

(1ページより) する必要があり、会社の理解が充分でないので糾していきます。各分会、賃上げ、職場労働条件の改善を一つ一つ最後まで丁寧に闘いましょう。

西成分会 は西成の労働センターが閉鎖になり地域の姿や環境が変わってきていますが毎週月曜、木曜の朝5時から6時半までビラ「大阪城」を地域で撒いています。

そして5月1日(土)には第52回釜ヶ崎メーデーをやります。5/1(土)は朝8時半より三角公園(萩之茶屋南公園)で1時間集会をやり9時半にデモ出発。地区内を周り通天閣へ10時10分到着・解散です。地域の若者達や諸グループと「釜ヶ崎メーデー民衆実行委員会」を作り既に3回の準備会議をしています。5/1メーデーをいろんな形・内容で共に闘いましょう。支部の皆さんの注目と応援をお願いします。

今後の予定

3 / 29 (月)	10:00	地本第8回執行委員会
4 / 2 (金)	18:30	釜ヶ崎メーデー相談会(西成)
4 / 4 (日)		宝塚市長選挙・公示(投開票4/11)
4 / 5 (月)	18:30	支部執行委員会
4 / 6 (火)	18:00	弁護士相談会
4 / 7 (水)	13:30	地本財政委員会
4 / 8 (木)	18:45	南大阪・幹事会
4 / 14 (水)	19:00	樋口商店分会団体交渉
4 / 15 (木)	16:30	関生闘争集会(中之島水上ステージ)
	17:00	裁判所包囲・抗議行動
4 / 19 (月)	18:30	太平ビルサービス分会第二回団体交渉
4 / 26 (月)	10:00	地本第9回執行委員会
5 / 1 (土)	8:30	第52回釜ヶ崎メーデー
5 / 10 (月)	18:30	支部執行委員会(予)